那覇港だより

な　は　みなと

２０１４．10
第 11 号

☆ ☆

目　次

☆ ☆

１　「2014 那覇港で満喫（マリンで満喫コース）」を開催しました　・・・１

２　臨港道路若狭 2 号線供用開始について　・・・３

３　人道橋の供用開始について　・・・４

４　那覇港管理組合議会議員紹介コーナー（２）　・・・５

５　那覇港とぴっくす（那覇港の動き、那覇港管理組合議会の動き）　・・・６

６　那覇港フォトコンテスト 2014　・・・７

７　那覇港写真館　・・・９

ガントリークレーン３号基から慶良間諸島を望む

２０１４那覇港で満喫（マリンで満喫コース）を開催しました

（企画建設部企画室）

今年度、那覇港管理組合では、より多くの方々に那覇港の魅力に触れてもらうためのイベント「那覇港で満喫」を 2 つのコースに分けて実施しています。8 月 14 日～9 月 17 日の期間で参加者を募集し、多数の方々にご応募いただきました。

好天に恵まれた９月９日（火）には、イベントの１つ「マリンで満喫」を開催しました。ご応募いただいた中から、抽選で当選した 28 名にご参加いただき、海外クルーズ船のクルー18 名と波の上うみそら公園や水中観光船による海中見学で、ロマンあふれる交流を行い、那覇港の魅力に触れてもらいました。

船内見学会ではスーパースターアクエリアス号に乗り込み、船内を見学しました。海上を移動するホテルとも言われる規模の大型クルーズ船内を、クルーに丁寧に案内していただきました。

水に漂う参加者とクルーズ船

波の上うみそら公園では、シュノーケリングを楽しむグループと、グランドゴルフを楽しむグループに分かれました。それぞれのグループで波の上うみそら公園の海中と陸上の魅力を堪能しました。

参加者から『シュノーケリングは泳ぐというよりも海を漂う感覚で、日頃の緊張を癒し、リラックスするには最高』という感想をいただきました。また、サンゴを触ることはマナー違反ですが、当日は引き潮ということもあり、手が届きそうなほど近くでサンゴをじっくりと観ることができたという事です。

シュノーケルを満喫！

うみそら公園では、用具はウェットスーツ、フィン、マスクと全て貸し出してもらえるため、用意するのは水着のみとお手軽です。沖縄では暑い日がまだまだ続きます。週末はお手軽に波の上うみそら公園のシュノーケリングにてリラックスしつつ、涼を取り、リフレッシュしてはいかがでしょうか。

クルーのナイスショット！（グランドゴルフ）

一方、グランドゴルフは、でこぼこが少ない平坦なコースながらも、なかなかプレーする機会が少ないのか、一筋縄ではいきません。参加者の皆さんはつつましく、力をあまり入れずにそっと打つため、ホールポストに届かない事が多く、逆に、クルーの皆さんは豪快に力一杯打つせいか、ホールポスト超えを連発していました。「慎重派」対「豪快派」の結果は、豪快派のクルーの多くの方がホールインワン賞を獲得するという快挙に終わりました。

やはり、思い切ってやったほうが結果も良いようです。

スコアなどの結果はともかく、参加者の皆さんもクルーの皆さんも楽しい一時を過ごせたようで、表彰式では歓声と笑顔でいっぱいでした。

幻想的な海底風景に釘付け

波の上うみそら公園での楽しい一時の後は、水中観光船に乗り、水中見学会を行いました。透明度が高く、たくさんの魚と珊瑚の織りなす幻想的な海底風景を楽しめたという事です。

海辺の施設に親しんだ後は、散策ツアー「みなとまーい」でウォーターフロントエリアの観光スポットを大急ぎで回った後、今まさに出発しようとしているスーパースターアクエリアス号を若太鼓の皆さんと共に見送り、「マリンで満喫」は幕を閉じました。船の上には普段のお見送り時よりも多くの乗船客が見送りに応えていました。

出港見送りで通ずる心

「那覇港で満喫」のもう１つのイベント「歴史＆マグロで満喫」は、当選者を対象に、10 月 21 日に開催を予定しています。

那覇港（泊ふ頭地区）臨港道路若狭２号線の供用開始について

（総務部総務課）

平成２６年８月２３日に那覇港（泊ふ頭地区）臨港道路若狭２号線が供用開始されました。これにより、国際通りなどへのアクセス時間が２０分程度短縮され、クルーズ船客をはじめとする那覇クルーズターミナル利用者の利便性がさらに向上いたしました。

那覇クルーズターミナルについては、平成２１年９月に暫定的に供用が開始されましたが、同ターミナルから南方面に向かうアクセス道路がなかったことから、平成２０年度から沖縄総合事務局那覇港湾・空港整備事務所によって若狭２号線の建設が開始されました。

工事期間は、平成２６年度までの７年間であり、道路延長は３６５メートル、幅員構成は標準部で車両幅員が２．７５メートル×２、歩道幅員は３．５メートル、設計速度は時速３０キロメートルとなっております。

当日は、子供エイサーの演舞が行われる中、午前９時５０分にパトロール車を先導に関係車両８台で渡り初めを行った後､観光バスやタクシー等の通行が多くなった午前１０時２５分からの１０分間、子供エイサーと関係者で観光バス等を出迎え、供用開始を祝いました。

またその日は、スーパースター・アクエリアス号（総トン数約５１，０００トン、全長約２３０メートル、定員約１５００名）が台湾基隆港から那覇港に入港したこともあり、多くの外国人観光客に若狭２号線の供用開始を喜んでもらいました。

若狭２号線の渡り初め

供用開始を祝う関係者

人道橋の供用開始について

（企画建設部建設課）

那覇港管理組合においては、ウォーターフロントの更なる活性化を図るため、有識者で構成される委員会の助言の下、「那覇港みなとまちづくりマスタープラン」の策定を行っており、マスタープランにおけるウォーターフロントエリア（明治橋から泊漁港背後にかけての面的に市街地と繋がる範囲）の一体性や相乗効果を発揮するため、遊歩道（プロムナード）の整備を行うこととしています。

この度、波の上ビーチから泊ふ頭への移動ルートとして、泊ふ頭若狭海浜公園北端に位置する潮渡川に人道橋（歩行者専用の橋）を整備しました。

人道橋は、公園利用者の利便性の向上に繋がる他、地域住民のレクリエーション活動等にも寄与するものとして、地元自治会も整備に大きな期待を寄せていました。

このため、人道橋の名称の検討にあたっては、地元からより親しみを持てるものとなるよう、地元の「若狭市営住宅自治会」と「若狭めおと自治会」に対し、名称の案を募り、提案のあった「わかさ海岸遊歩道橋」（わかさかいがんゆうほどうばし）を、人道橋の正式な名称として採用しています。

平成 26 年 8 月 20 日に供用のセレモニーを開催し、施工業者や若狭小学校児童及び父兄等の地域の方々と、これまで工事にご協力をいただいた事に対して感謝するとともに、参加者一同で「わかさ海岸遊歩道橋」の供用を祝いました。

ちなみに、人道橋である「わかさ海岸遊歩道橋」は、原則、車両の通行はできませんが、緊急時を想定し、管理車両等が通行できるよう、幅員に余裕を持たせています。

那覇港管理組合議会議員紹介コーナー＜２＞

沖縄県（５名）・那覇市（３名）・浦添市（２名）の各議会から合計 10 名が選出されて構成されている那覇港管理組合議会議員を紹介するコーナーです。

今回は、糸洲議員と狩俣議員のコメントを紹介します。

糸洲朝則議員（県議会選出）

多良間島で生まれ育った糸洲朝則です。

平成８年、県議会に初当選し、現在５期目で那覇港管理組合議員は初めてです。

那覇港は、琉球王国時代、琉球国を貿易国家として支え、また、近代では商都那覇のシンボル的な存在として、沖縄の経済を支えてきました。

グローバル化の時代になり、アジアの成長とともに那覇港の役割はますます重要になっています。時代にマッチしたインフラ整備を推進するとともに、国内外の主要港湾との貿易、物流の推進、いわゆるポートセールス等による物流の確保、クルーズ観光の推進、人材の育成等々、那覇港管理組合の役割はますます重要になっています。

中長期的展望に立った那覇港の未来像を描き、議員仲間の皆様と切磋琢磨し、また協力し合って頑張ります。職員、業界の皆様、よろしくお願い申し上げます。

～トキメキの港湾議会・かいだん物語～

狩俣信子議員（県議会選出）

那覇港管理組合の議会があるたびにドキドキしながら階段を上がっていきます。息切れが凄い。痩せれば良いなんて言わないで。私にとってはホントにかいだん（？）物語なんです。

エレベーターが早く設置されると助かります。

初めの頃、管理組合がこんなにたくさんの仕事をしているなんて知りませんでした。今や、沖縄からの空コンテナのことが気になるし、産業振興や農産物の県外国外への輸出も心配です。

先日視察した台湾の基隆港や高雄港や物流センターは大変良い勉強になりました。先進国を勉強して沖縄の独自性をどう作っていくかが問われると思います。

ガントリークレーンも３台になりましたが、それに見合う貨物があればと思っています。また、クルーズ船の入港も年々増え、観光客がもっと増えると経済の活性化に繋がるものと期待されます。

職員の皆様の日々の取り組みに感謝しつつ、次回もドキドキしながら、トキメキの港湾議会のかいだんを登って行きます。

那覇港とぴっくす

とまりんフェスタの開催

9月12日～14日

- とまりんを中心施設とする泊港は、7つの周辺離島（渡嘉敷、座間味、粟国、渡名喜、久米島、南大東、北大東）と沖縄本島を結ぶ玄関口でもあります。
- 周辺離島の魅力発信と、泊ふ頭地域の活性化を目的に、とまりん海浜公園をメイン会場として「とまりんフェスタ2014」が開催されました。
- 今年は「～船で繋がる島々のFriendship～」をテーマに、慶良間諸島が国立公園に指定されたことの記念も兼ねて、充実した様々なイベントが開催されました。

9月25日・26日

一部事務組合港湾運営協議会への参加

- 全国の一部事務組合港湾（石狩湾新港、苫小牧港、名古屋港、四日市港、境港、那覇港）が一堂に会し、各港湾の現状と課題を情報交換し、連携して課題解決を図るため、一部事務組合港湾運営協議会を毎年開催しています。
- 今年度の定例会議は、苫小牧港管理組合で開催され、初日の会議で様々な意見や白熱した議論を交わした後、２日目には、苫小牧港の港湾施設を視察させていただきました。
- 来年は四日市港で開催となります。

9月27日(土)

那覇市総合防災訓練の開催

- 那覇市では、地域住民と防災関係機関が協力し、実践的な防災訓練を行うことにより、相互の連携・協力体制の確立を図るとともに、広く市民に対し防災思想の普及啓発を図ることを目的として、今年度は那覇港のうみそら公園をメイン会場として那覇市総合防災訓練が開催されました。
- 訓練では、那覇市で震度6弱の地震と、それにともなう大津波警報が発表されたことを想定し、消防機関による水難救助訓練や、消防団と医療関係機関の協力のもと、応急救護所運用訓練など、大規模な訓練が展開されました。

那覇港管理組合 今後の主な予定

〇沖縄県港湾協会理事会・通常総会（10月10日）
〇那覇港管理組合議会11月定例会（11月下旬）
〇沖縄大交易会（11月27日・28日）

～那覇港管理組合議会のうごき～

8月定例議会の開催(8/19～21)

下記の議案が可決されました。
〇議案第1号：
　平成26年度那覇港管理組合一般会計補正予算(第1号)

ジャパン・クルーズ・キャンペーン

那覇港 フォトコンテスト2014

パシャ

那覇港へ行って写真を撮ろう!!

プロ・アマを問いません。
年齢も問わず。
幅広い年代からのご応募
をお待ちしています!

主催：那覇港管理組合

後援：全国クルーズ活性化会議　那覇クルーズ促進連絡協議会

一般財団法人　沖縄観光コンベンションビューロー　一般社団法人　那覇市観光協会

主な客船の入港予定
※変更される場合もありますので、ご注意ください。

SUPERSTAR　AQUARIUS

9/2,　9/9,　9/16,　9/23,　9/30

Voyager of the Seas

9/14~15,　9/20,　9/27

【那覇港フォトコンテスト2014実施概要】

1．【テーマ】

那覇港とクルーズ客船及び那覇クルーズターミナル、うみそら公園

【部　門】

①クルーズ客船部門　②那覇クルーズターミナル部門
③うみそら公園部門

2．【応募対象】

平成25年10月1日～平成26年9月30日までに那覇港で撮影した写真作品

3．【募集期間】

平成26年9月1日～10月7日まで

4．【応募形態】

●プリントまたは画像データ。
●プリント：四つ切（ワイド可）またはB4サイズ３枚。
（自宅プリンターの出力可）
●データ：１０ＭＢ以内のＪＰＥＧ・ＰＮＧ形式。

5．【応募規定】

プロ・アマを問いません。年齢も問わず。
※作品は自作・未発表のもの限定。　※複数応募可。

6．【応募方法】

郵送またはオフィシャルサイト
(右記ＱＲコード)より応募ください。

●郵送：プリント作品に必要事項を明記した自作応募票を添付のうえ、下記応募先へ送付ください。
応募票記載内容⇒作品タイトル、氏名（ふりがな）、年齢、住所、電話番号、撮影年月、撮影場所、応募部門

●サイト：応募フォームのメッセージに必要事項を明記のうえ、作品データを送信ください。

7．【応募の注意事項】

（１）全入賞作品の使用権は主催者に帰属し、展示会、出版物、宣伝物、インターネットなどに無償で使用する。
（２）全ての応募作品は返却しない。
（３）入賞作品は媒体掲載や展示会のパネル制作などで使用します。あらためてオリジナルのネガやポジ、デジタルデータなどの提供をお願いする。
（４）一般的なフィルムを使うカメラおよびデジタルカメラ、カメラ付き携帯電話による作品可で、撮影した画像の加工や合成など修正を施したものは一切応募不可。
入賞後であっても判明した場合は無効とする。
（５）一般の方が立ち入り禁止となっている区域、建物屋上のフェンスを乗り越えるなど著しく危険な場所から撮影された作品は無効。入賞後であっても判明した場合は無効とする。
（６）撮影中の事故についての一切の責任を負わない。
また、被写体として人物が写っている場合、肖像権の侵害にならないよう必ず本人（被写体）の承諾を得ること。

8．【展示・閲覧】　【場所／期間】

郵送応募：10/12～31
●那覇クルーズターミナル　●那覇埠頭船客待合所１Ｆロビー
●沖縄県庁１Ｆロビー　●浦添市役所ロビー等で展示予定。

サイト応募：10/12～31
●オフィシャルサイト
●那覇クルーズターミナル内２Ｆモニターにて公開予定。

9．【審査方法】

▼郵送応募作品
展示期間中に一般閲覧者からの投稿を行い、数が多いものを絞り込み、更に審査委員会にて厳正に審査の上、入賞作品を決定。

▼サイト応募作品
展示期間中に一般閲覧者からの投票を行い、投票数が多いものに選定。

10．【発表】

主催者等のホームページにて掲載予定。

11．【入賞作品選出（受賞者には賞状と副賞を贈呈!!）】

（郵送応募）
★最優秀賞１点（部門まとめ）
★優秀賞（各部門１点）
★特別賞（数点）

（サイト応募）
★いいね！賞（各部門１点）

12．【応募先】

〒900-0035　那覇市通堂町2-1-1-1Ｆ

ＮＰＯ法人　ナハ・シー・パラダイス協議会　事務所内
「那覇港フォトコンテスト」事務局

■お問い合わせ先：Tel.098-988-4122（平日9時～17時）

那覇港写真館

ボイジャー・オブ・ザ・シーズの受け入れに大忙し、バスの行列

那覇港の一番高いところから見た慶良間諸島国立公園

＊＊＊＊那覇港だよりに関するお問い合わせやご意見、情報の送り先＊＊＊＊

那覇港管理組合総務部総務課(担当：福原)

〒900-0035　那覇市通堂町２番１号　TEL:098-868-2578　FAX:098-868-2629

e-mail: kumiai@nahaport.jp

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊